

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】令和4年11月15日(2022.11.15)

【公開番号】特開2022-22883(P2022-22883A)
 【公開日】令和4年2月7日(2022.2.7)
 【年通号数】公開公報(特許)2022-022
 【出願番号】特願2020-118921(P2020-118921)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00(2006.01)
 H 0 2 M 7/12(2006.01)
 H 0 2 M 3/28(2006.01)
 B 6 0 L 58/19(2019.01)
 B 6 0 L 9/18(2006.01)
 B 6 0 L 58/22(2019.01)

10

【F I】

H 0 2 J 7/00 K
 H 0 2 J 7/00 P
 H 0 2 J 7/00 3 0 3 C
 H 0 2 J 7/00 3 0 2 C
 H 0 2 M 7/12 Q
 H 0 2 M 3/28 V
 B 6 0 L 58/19
 B 6 0 L 9/18 P
 B 6 0 L 58/22

20

【手続補正書】

【提出日】令和4年11月7日(2022.11.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

上記の〔6〕の変換装置は、第1バッテリー部の出力電圧と第2バッテリー部の出力電圧との差が閾値未満であることを条件として電源装置を直列接続から並列接続へ切り替えるため、出力電圧差が閾値以上である状態で並列接続に切り替わることを防ぐことができる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

40

【補正対象項目名】0041

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0041】

図4のように、コンデンサ51は、第1変換回路52の直流端である端子52M、52Nに電氣的に接続される。コンデンサ51の一方の電極は端子52Mに電氣的に接続され、コンデンサ51の他方の電極は端子52Nに電氣的に接続される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0074

【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0074】

変換装置10は、第1バッテリー部34Aの出力電圧と第2バッテリー部34Bの出力電圧との差が一定値以上である場合に制御によって出力電圧の電圧差を減少させることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0075】

変換装置10は、第1バッテリー部34Aの出力電圧と第2バッテリー部34Bの出力電圧との差が閾値未満であることを条件として高圧バッテリー34（電源装置）を直列接続から並列接続へ切り替えることができる。よって、この変換装置10は、出力電圧差が閾値以上である状態で並列接続に切り替わることを防ぐことができる。

20

30

40

50